

JAPAN CLIMATE INITIATIVE \

Race to Zero Circle

The logo for 'Race to Zero' features the words 'RACE TO ZERO' in a bold, purple, sans-serif font. The text is positioned on the right side of a horizontal purple bar that has a gradient effect, fading from a darker purple on the left to a lighter purple on the right. A thin vertical purple line is located to the right of the text, extending the height of the letters.

Race to Zeroとは？

2021年2月4日版

Race to Zeroとは？



- ρ 健康で強靱なゼロカーボン復興に向け、非政府アクターの意欲的な取り組みを集結するための国際キャンペーンとして2020年6月5日に開始。
- ρ Race to Zero参加主体は、**遅くとも2050年までにネットゼロを達成する**という共通の目標を約束。
- ρ UNFCCCが主催し、気候行動ハイレベル・チャンピオン（現チャンピオンは、ゴンザロ・ムニョス氏とナイジェル・トッピング氏）が主導する。

Race to Zeroに参加しているのは？

454

Cities

23

Regions

1,397

Businesses

74

Investors

569

Universities

参加する非政府アクターを合わせると、世界のCO2排出量の25%近く、GDP50%以上をカバーする。

Race to Zeroの背景 – 気候野心同盟の設立



- ρ COP25議長国のチリの主導により、2019年9月にニューヨークで開催された「国連気候行動サミット」で発足。
- ρ **2050年ネットゼロ**にコミットしている政府及び非政府アクターが参加する連合体
- ρ COP25会期中には、12月11日に気候野心同盟の参加主体数を更新して発表

気候野心同盟から生まれたRace to Zero



- ρ 気候野心同盟への非政府アクターのさらなる参加を促す
- ρ Race to Zeroに参加する非政府アクターは、気候野心同盟の参加主体としてもカウントされる

気候野心同盟の参加主体リスト：

<https://climateaction.unfccc.int/views/cooperative-initiative-details.html?id=94>

Race to Zeroが目指すこと



- ▶ COP26の前に、脱炭素経済への移行に向けた機運を作り、「非政府アクターがパリ協定の目標達成と脱炭素と両立した回復のために団結している」と各国政府に知らしめることで、各国のNDC強化にも影響を与える
- ▶ 2050年ネットゼロの誓約に加え、達成のための計画、実行、公開が参加要件
- ▶ ゼロ宣言から実行にただちに踏み出し、できるだけ早くゼロを達成してほしいという期待が込められている。

Race to Zeroの参加要件

① 最小要件 (Minimum Criteria)

1. 誓約 : Pledge

組織のトップレベルで、遅くとも2050年までにネットゼロを達成することにコミット

2. 計画 : Plan

COP26の前に、ネットゼロ達成にむけて、特に短中期でどういうステップを踏むのかを説明すること。また、2030年までにCO2 50%削減（2010年比）に見合う中間目標を設定すること。

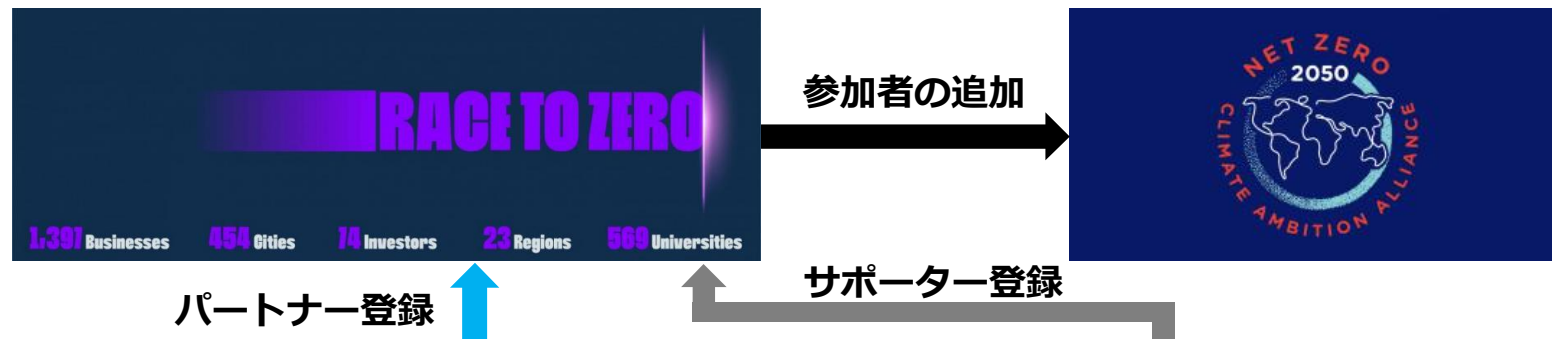
3. 実行 : Proceed

設定した中間目標および2050年までのネットゼロ達成に向けてすぐにアクションを起こすこと。

4. 公開 : Publish

少なくとも年に一度の進捗報告をすること。またできる限り、UNFCCC Global Climate Action Portal <<https://climateaction.unfccc.int/>>を通じて報告すること。

Race to Zeroの全体像



パートナー登録

パートナー

企業

- Business Ambition for 1.5 C - Our Only Future
- The Climate Pledge
- Certified B Corporations
- the International Chamber of Commerce Chambers Climate Coalition

都市・自治体

- C40 Deadline 2020
- Science Based Targets for Cities

投資家

- ICLEI- Local Governments for Sustainability

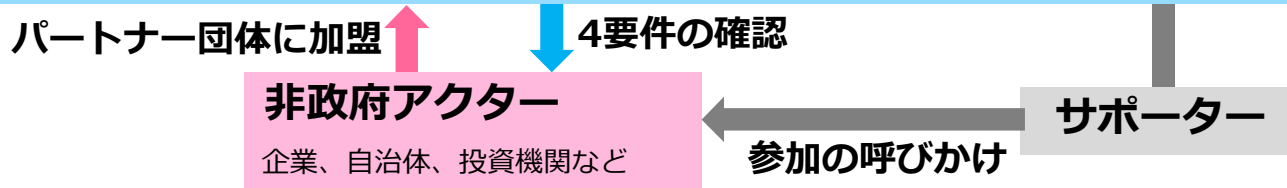
地域・州

- Under2Coalition

大学

- Global Universities and Colleges for the Climate
- Second Nature

JAPAN CLIMATE INITIATIVE \ Race to Zero Circle



日本からの参加状況

Business Ambition for 1.5 C - Our Only Future

味の素、アスクル、アシックス、日立製作所、麒麟ホールディングス、国際航業、丸井グループ、野村総合研究所、小野製薬、リコー、ソニー、ウェストボックス

Fashion Charter for Climate Action

アシックス、ファストリテイリング、YKK

ICLEI- Local Governments for Sustainability

91自治体が掲載（2021.2.3時点）。そのうち**18自治体**がJCIメンバー（環境省ウェブサイトで公表されている「ゼロカーボンシティ」は224（2021.2.3時点））

C40's Deadline 2020

京都市、東京都、横浜市

Global Universities and Colleges for the Climate

千葉商科大学